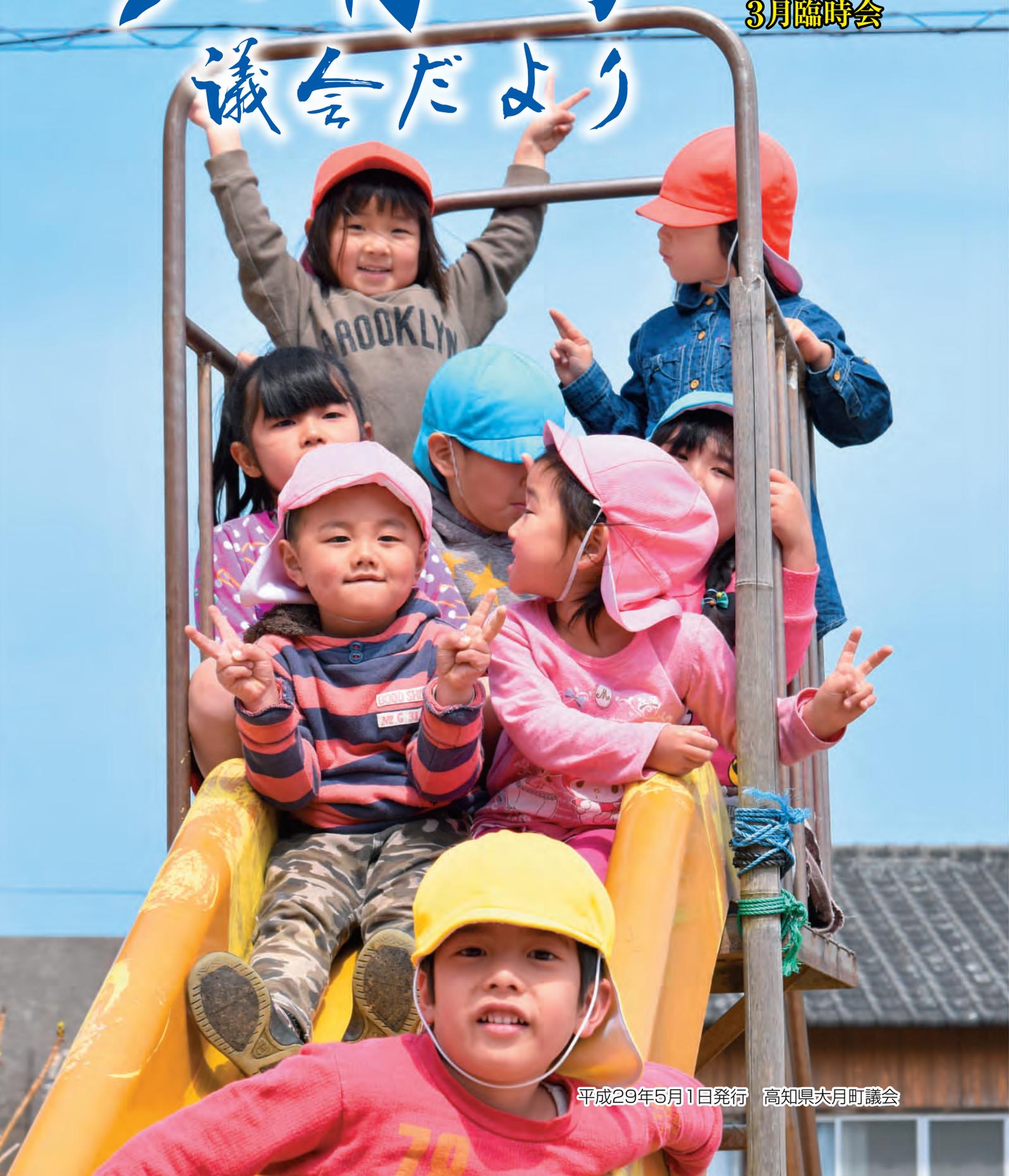


# 大月町

## 議会だより

88号

3月定例会  
3月臨時会



ふるさと応援  
寄付金謝礼品費  
1億1957万円



姫ノ井集落活動  
センター補助金  
5000万円



小学校エアコン・  
パソコン購入費  
1821万円



緊急ヘリコプター  
離着陸場整備  
1650万円  
(柏島地区に整備)



10トン未満の  
漁船のリース事業  
375万円



防災・安全  
交付金事業  
2億700万円  
(橋の修理費など)



大月町議会だより

88号

## もくじ

- P 2 新年度予算主な使い道
- P 4 平成29年度当初予算
- P 6 予算質疑
- P 11 平成28年度補正予算
- P 12 条例・人事等
- P 13 一般質問
- P 17 あれはどうなった
- P 18 みんなの広場
- P 20 こんにちは

表紙写真によせて



楽しいよ

友達がいれば、それだけで楽しいよ。どろんこ遊びだって、くつとばしだって、お絵かきだって…ね。すべり台だって、ほうら、このとおり。

みんながいるから楽しいよ。  
(柏島保育所の子どもたち)

# 新年度予算

# 主な使い道

新年度予算、ここに力を入れました。  
主な使い道として8つの事業を紹介します。

さんご荘改修設計委託料  
1600万円  
(さんご荘建て替えの設計費)



成ヶ丘団地設計委託料  
1800万円  
(町営住宅を3棟建てる設計費)



## 3月定例会

3月定例会は2月23日から3月2日までの8日間、下記の内容で審議し、原案のとおり可決しました。

内容 報告1件

平成29年度当初予算10件

(4、5ページに関連記事)

平成28年度補正予算8件

(11ページに関連記事)

条例9件

人事案件2件

指定管理2件

(12ページに関連記事)

計32件

一般質問3名

(13、16ページに関連記事)

## 3月臨時会

3月臨時会は3月27日に開催し、人事案件1件を原案のとおり同意しました。

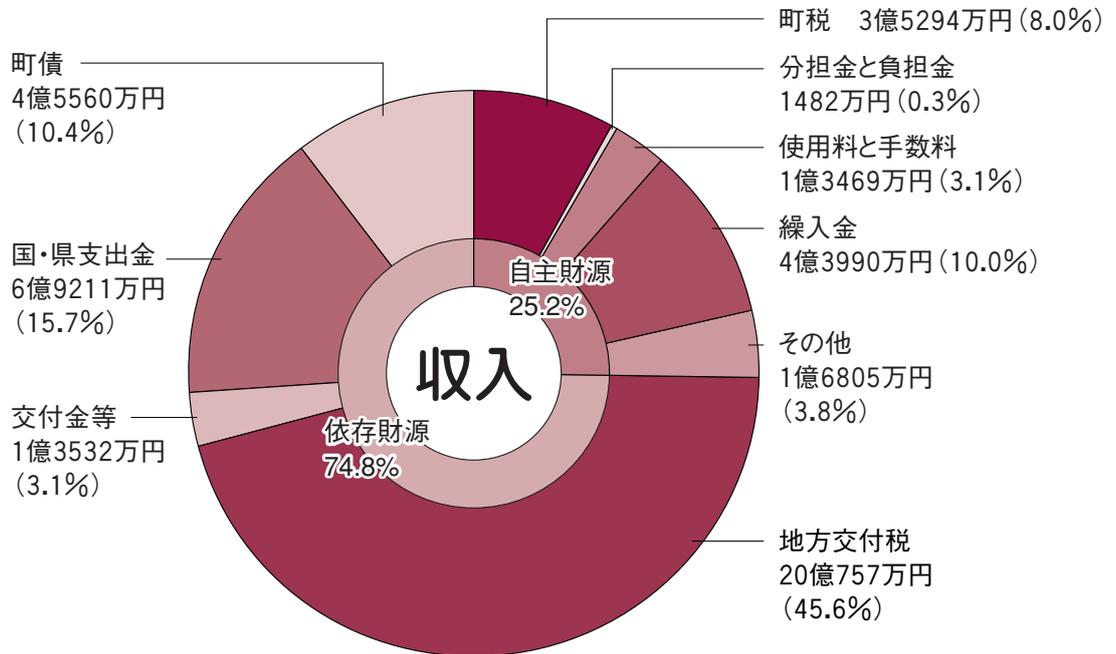
(12ページに関連記事)

# 44億100万円



生活応援に全力

入るお金

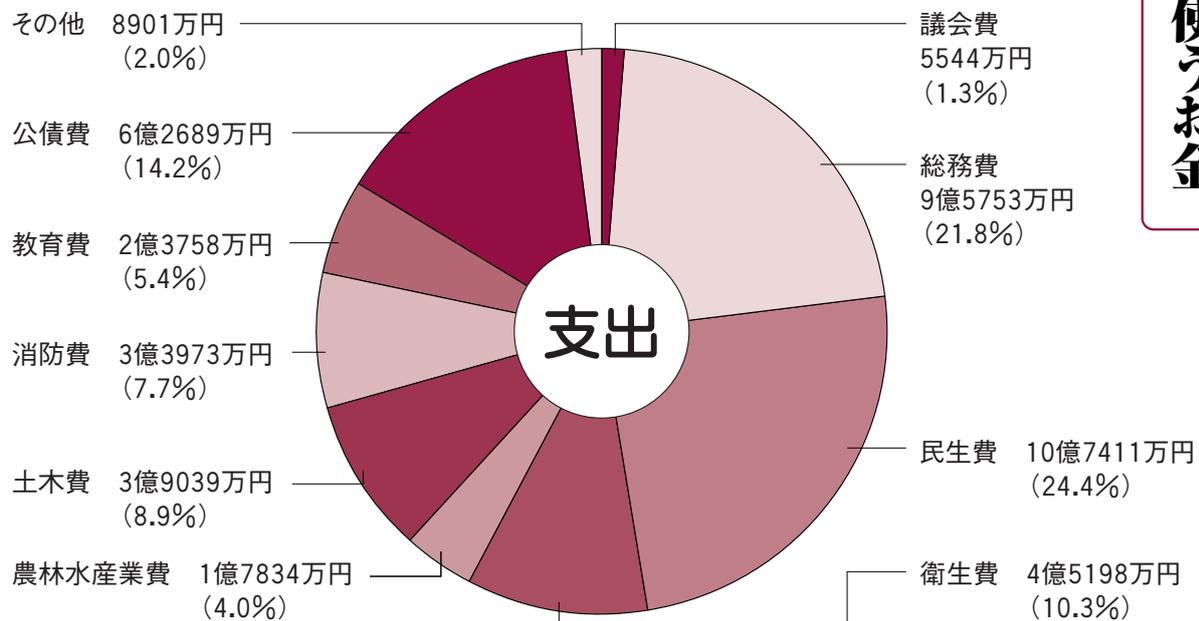


- 町 税：町民税、固定資産税など町民が納める税金です。
- 繰 入 金：町の貯金を下ろして財源に充てるお金です。
- 町 債：町の事業を行うために借りるお金です。
- 国・県支出金：特定の事業を行うために国や県から配分されるお金です。
- 交 付 金：消費税、ガソリン税などから地方へ配分されるお金です。
- 地 方 交 付 税：公共団体の公平性を保つため、国から地方へ配分されるお金です。

# 一般会計 当初予算 4.3%減 総額

## 平成29年度予算

会計名		平成29年度	平成28年度	比較	伸率
一	般 会 計	44億100万円	45億9900万円	△1億9800万円	△4.3%
特 別 会 計	特別養護老人ホーム	3億3877万円	3億1585万円	2292万円	7.3%
	住宅新築資金等貸付事業	66万円	66万円	0円	—
	国民健康保険	11億9672万円	12億2855万円	△3183万円	△2.6%
	介護保険	8億769万円	7億9904万円	865万円	1.1%
	水道	3億3683万円	2億1100万円	1億2583万円	59.6%
	漁業集落排水処理事業	492万円	492万円	0円	—
	後期高齢者医療	1億186万円	8872万円	1314万円	14.8%
病 院 事 業 会 計	5億2573万円	5億5868万円	△3295万円	△5.9%	
会 計 間 重 複 額	△4億8131万円	△4億3883万円	△4248万円	9.7%	
総 額		72億3287万円	73億6759万円	△1億3472万円	△1.8%



使うお金

- 総務費：管理、企画、地域振興、ふるさと創生などに使われます。
- 民生費：障害者支援、老人福祉、児童福祉などに使われます。
- 衛生費：健康づくり、環境衛生、塵芥処理などに使われます。
- 農林水産業費：農林水産業の振興に使われます。
- 土木費：道路、橋、河川の改修などに使われます。
- 教育費：小学校、中学校、社会教育などに使われます。



地域を守り育てるための工夫を

# どう使う

# 新年度予算

平成29年度一般会計、8特別会計、病院事業会計を合わせた総額72億3287万円の新年度予算について、2月27日から3月1日までの3日間にわたり全員協議会で、3月2日は本会議で集中質疑を行いました。その概要を報告します。

## ふるさと納税

**谷議員** ふるさと納税は昨年度実績約1億5000万円。今年はそのを下回る約1億3000万円の目標だ。昨年度実績を上回る目標を設定すべきではないか。

**岡田町長** 全ての予算が暫定的な部分もある。補正で対応する方向で検討している。

**谷議員** 実績を上げるためには業者を強くしていかなければならない。公社、産業振興課、まちづくり推進課の連携がしっかりとれているのか。

**岡田町長** ふるさと納税の返礼品は、第一次産業、農業、漁業も含めて連携して取り組んでいる。29年度はさら



に強固な連携の下で取り組んでいかなければならないと考えている。

# 教育 委員会

## エアコン設置

安岡議員 備品購入費  
1821万円は何に使  
うのか。

答 ふるさと納税を活用  
して、小学校の普通教室  
にエアコン9台を設置  
する。

## クラブ支援員

野村議員 教育版地域  
アクションプラン支援  
員の内容は。

答 1名雇用し、中学校  
のクラブ活動を補助す  
る。

久米議員 どんな形に  
なるのか。

答 監督・顧問が入れな  
いときに支援をする。



## 給付費

山本議員 児童福祉施  
設型給付費666万円  
の内容は。

答 大月町に在籍してい  
て、他町村で保育を受け  
るに支払うもの。

# 総務課

## 新団地

安岡議員 成ヶ丘の新  
団地の場所や規模は。

答 場所はコスモス祭り  
をしている所。規模は3  
棟18戸。

## 公用車

中平議員 公用車購入  
390万円は。

答 乗用車と中古の1ト  
ントラックを購入する。



## 改修計画

高野議員 周防形岩井  
崎の入居者数と改修計  
画は。

答 9棟18戸のうち、13  
戸入居している。毎年1  
棟ずつ計画的に改修する。



岩井崎の住宅改修、待ちよるけんね

# 危機 管理課

## ポンプ車

山本議員 小型動力ポ  
ンプ付き積載車868  
万円は。

答 安満地のポンプ車を  
購入する。ポンプ車は20  
年をめどに更新している。

## エリア工事

久米議員 防災拠点工  
リア整備工事2000  
万円はどこか。

答 柏島のヘリポートと  
平成28年度実施している  
防災活動センター間の舗  
装や排水工事。

## クラブ補助金

安岡議員 女性防火ク  
ラブ補助金を手厚くす  
べきではないか。

答 今後、予算折衝で協  
議する。

## 給油所整備

浦木議員 災害用給油  
所整備はどこか。

答 災害時応援協定を結  
んでいる弘見の森石油に、  
機械を導入する。

参考 現在設置している

のは、弘見と姫ノ井のJ  
A給油所です。



# 保健 介護課



## ヘルパー研修

久米議員 ホームヘルパー養成研修180万円の人数は。

答 20名くらいの参加を見込んでいる。

## さんご荘改築

中平議員 さんご荘改築後の施設規模は。

答 定員25人を30人程度にしたい。障害者に場所を提供できるところも作りたい。

## 子育て事業

谷議員 子育て新規事業を具体的に。

答 母子手帳を交付した時から保健師が主となって子育て支援を行う。

野村議員 ヘルパー研修は、即戦力になるようにスキルを上げることができれば、トラブルが少なくなるのでは。

答 ヘルパー研修の後、もう一つ上をめざす場を作ったらと思う。

# 土地対策室

## 国土調査

高野議員 国土調査で柏島、春遠、平山の一部が残っている理由は。

答 調査当時の未筆界が多いため。



妊婦の時からケアができれば大助かり

# まちづくり 推進課

## 集落センター

安岡議員 姫ノ井集落活動センター5000万円の内容は。また、このセンターはどこが運営していくのか。

答 木造平屋建て200平方メートルの建築費と活動費。構成員は姫ノ井住民で4年目から自主運営となる。

## にぎわい創出

野村議員 道の駅にぎわい創出事業528万円はどういう事業か。

答 地域の産業振興、地域活力の向上を目的に、イベント、外商を行う。

## 宿泊施設整備

高野議員 宿泊施設整備工事501万円の内訳は。

答 竜ヶ浜キャンプ場ウッドデッキの塗装、ベランダの自動ドア、遊歩道の手すりを補修する。

## 住宅改修

浦木議員 移住希望者住宅改修補助金1824万円の説明を。

答 1件あたりの限度額182万4000円で10件分を計上している。



# 産業 振興課



## 人材投資事業

小松議員 農業次世代人材投資事業について説明を。

答 青年就農給付金から名前が変わったもので、年間1人150万円を2名に給付するもの。

## 漁船導入事業

浦木議員 新規漁業就業者および漁船導入の内容は。

答 研修生に生活支援費月15万円を支援。漁船導入は、中核漁業者へ10トン未満の船をリースする。

## 稚魚の放流

谷議員 種苗放流は3万尾と聞いているが、その内容は。

答 ヒラメ1万尾、イサギ1万5000尾、カサゴ5000尾。

答 研修期間は2年。年齢は65歳未満。漁協組合員にならないといけない。研修後は独立自営就業する。

## 有害鳥獣対策

高野議員 有害鳥獣被害対策協議会補助金150万円と有害鳥獣捕獲活動支援事業補助金50万円は、どこに出しているのか。

答 有害鳥獣被害対策協議会補助金は、電気柵設置などの補助として協議会に出す。

有害鳥獣捕獲活動支援事業補助金は、1万円を限度に発砲して追い払った人、わなをかけた人に出す。



# 町民福祉課



この子たちが次の世代を担います

## 共助の基盤

安岡議員 共助の基盤づくり委託料400万円は。

答 平成29年度で5年目になる。地域で集う場づくりなどの委託料。

## 医療の人数

小松議員 乳幼児、ひとり親家庭の医療費にかかる人数は。

答 1歳から就学前が72人。就学後が278人。ひとり親家庭が推測115人。

## 老人憩いの家

中平議員 周防形の老人憩いの家解体工事費を計上しているが、老朽化しているのか。また、跡地の利用は。

答 老朽化しているもので解体するもの。跡地の活用は今のところ考えていない。

# 建設 環境課



## 新設分担金

久米議員 水道新設分  
担金の個人負担は。

答 例えば、13ミリの水道管であれば、2万1600円をメーター設置料としていただいている。

## 合併浄化槽

浦木議員 合併浄化槽はどのくらいの補助があるのか。

答 5人槽で33万2000円、7人槽で41万4000円、10人槽で54万8000円。

## 水道の整備

中平議員 簡易水道施設整備工事を計画しているが、今年度の整備の見込みは。

答 姫ノ井地区を予定している。成ヶ丘団地から旧月灘中学校付近までの配水管と消火栓の整備。

安原議員 総額に対しての補助率は。

答 大きさにより定額で決まっているが、補助率は3分の1程度。

# 特別養護 老人ホーム

## 短期入所比率

山本議員 短期入所者は定員に対して何割くらいか。

答 実績で出しているのが正確には分からないが、利用率は少し下がっている。



快適な日常生活の提供を目指します

小松議員 給食材料の仕入れ方はどのようにしているのか。

答 ふれあいパークとマシヨッピングを利用している。

## 一時借入金

中平議員 28年度は一時借入金を借り入れていない。借入限度額の見直しが必要ではないか。

答 運転資金として借入金が増えることがあった。今後は、病院の運営状況を見ながら限度額の見直しも考えていきたい。

# 大月病院



健康のために特定健診を受けましょう

# 補正予算をたただす

## まちづくり補助金

**問** まちづくり総合支援事業費補助金20万円の説明を。

**答** 事業費増のため、1グループに20万円を追加するもの。

## 岸壁工事

**問** 田ノ浦漁港の施設整備機能強化事業負担金625万円減額の説明を。

**答** 田ノ浦漁港の岸壁耐震補強が30メートルから15・6メートルとなったことによる。

## 医業外収益

**問** 病院関係で、その他の医業外収益323万円が増えている理由は。

**答** 訪問リハビリの診療収入が伸びたことによる。

## 予防接種

**問** 予防接種種別委託料407万円減額の理由は。

**答** 当初1500万円ほど委託料を組んでいたが、受診者が少なかったため。

## 防災活動センター

**問** 社会資本整備総合交付金事業1157万円減額の理由は。

**答** 大月町防災拠点施設新築工事（平山地区と柏島地区の防災活動センター）落札額の減による。



たくさんの人でにぎわうふれあいパーク

## 平成28年度 3月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		△3065万円	49億7948万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△899万円	3億685万円
	国民健康保険	165万円	12億4202万円
	水道	△3235万円	1億8088万円
	介護保険	561万円	8億1881万円
	後期高齢者医療	153万円	9185万円
	給与等集中処理	883万円	9億6442万円
病院事業会計		△5166万円	5億702万円

# 条例

○ 農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員は、法改正により公選制から町長の任命制となり、現行の13名から7名に変更する。農地利用最適化推進委員は現場活動を行い、定数を7名とする。

(全員賛成)

## 一部改正

- 一般職の職員の給与に関する条例
- 一般職に属する技能職員の給与の種類及び基準を定める条例
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例
- 職員の育児休業等に関する条例
- 個人情報保護条例
- 税条例等
- 防災行政無線施設設置及び管理条例
- 防災活動センター設置及び管理条例

(全員賛成)

# 人事

## ◇教育委員

○ 成谷 慎治氏(西泊)

任期 4年

平成29年3月12日から

平成33年3月11日まで



○ 住岡 克政氏(弘見)

任期 4年

平成29年4月1日から

平成33年3月31日まで



## 臨時会

### ◇副町長

○ 浜崎 伸一氏(古満目)

任期 4年

平成29年3月29日から

平成33年3月28日まで



# 指定管理者

## さんご荘

大月町社会福祉協議会

会長 山本 肇

指定期間 3年

平成29年4月1日から

平成32年3月31日まで



## ベルリーフ大月

株式会社 田村商事

代表取締役 田村 章

指定期間 3年

平成29年4月1日から

平成32年3月31日まで





# 大月町の ここを聞く

3月定例会の  
傍聴者は**30人**でした。  
次の定例会は6月の予定です。  
多くの皆さんの傍聴を  
お待ちしております。

## 浦木議員

- ① 大月町人口ビジョン、大月町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
- ② 大月町保育所再編検討委員会の審議及び結審について

## 小松議員

- ① 集落機能の強化について
- ② 空き家対策について

## 高野議員

- ① 地震対策について

創生総合戦略

雇用の創出を第一に

重点的に考えていく／町長



浦木秀雄 議員



人口減少が進む集落

**問** 平成28年度、大月町創生総合戦略に充てたお金は1億9000万円。もっと多く、一般会計の1割(5億円)程度を計上する必要はあるのではないか。

**岡田町長** 平成29年度は、安定した雇用創出、新しい人の流れをつくる、若い世代・子育て世代対策、時代に合った地域作りの4事業に2億6635万円を計上している。

**問** 4事業の中で、今後大切に組み組んでいきたいものはどれか。

**岡田町長** 「新しい人の流れをつくる」を重点的に取り組んでいきたい。

**問** 働く場づくりは大月町民の切実な願いだ。「安定した雇用を創出する」を一番大事に取り組むべきではないか。

**岡田町長** 漁業、農業、林業も含めて、働く場を確保し、大月町で生

活できることを重点的に取り組んでいかなければならないと考えている。

保育所問題

2園の案はどうか

話し合っていく／教育長



楽しく遊ぶ子どもたち

**問** 再編検討委員会の結論が出ていない段階で、町長や教育長が保育所統合を考えていると答弁した。統合ありきではないか。

**浜崎教育長** 3園の保育所を1園に統合する構想を持っていると言ったけれど、統合するとは言っていない。

**問** 統合の案を持って住民説明会に行ったのは、再編検討委員会の独立性・中立性を侵すものではないか。

**浜崎教育長** 住民説明会は意見を聞く会で、1園にする考えを植える付ける会ではない。再編検討委員会の独立性・中立性を侵すものではない。

**問** 再編検討委員会は、「保育所を1つに統合する町の案を支持する」と結論を出した。問題は点は多すぎるが、このまま放置することはできないので、弘見と柏島の2園にする案はどうか。

**浜崎教育長** 家庭保育や地域の保育など、町は十分な説明をしている。今後、住民説明会の中でどのようにするか話し合っていきたいと考えている。

集落機能

強化対策は

地域拠点を整備／町長

**問** 大月町約30集落あり、年々高齢化率が上がってきてると、ここ数年もすれば全く機能できなくなる集落が出てくる。町内の集落に活力があつてこそまちづくりとなり、また発展につながるのではないか。限界集落にならないよう、どのように歯止めをかけ集落機能を強化するのか。



小松重富 議員

**岡田町長** 人口減少や高齢化が進む本町において、集落機能の維持や地域活動、担い手の確保等については大きな課題であると認識している。地域拠点の整備や機能強化に対する取り組みとして、集落活動センター推進事業で姫ノ井地区をモデルとして推進している。近隣地区も含め、集落機能の強化につながると思っているし、高齢化社会を迎える本町の新しい地域モデルとして期待したい。

空き家対策

取り組みは

総合実施計画を策定／町長



健康増進に励む姫ノ井地区の皆さん  
(集落活動センター姫の里)

**問** 町内の集落を回ってみると、空き家が増えてきている。そのまま放置すれば倒壊や景観を損なう恐れがある。空き家対策はどのように取り組んでいるのか。

**岡田町長** 老朽化が進み、倒壊の危険性が高くなった住宅は、災害時に避難路をふさぐ恐れがあるので除去する

制度がある。平成26年度から3年間で11件を除去した。今後、町内での空き家戸数や破損状況等を把握し、空き家対策総合実施計画を策定して作業を進めていく。老朽化住宅については、所有者や管理者が適切な維持管理をする責務があるので、補助制度の充実や情報提供に努めていく。



早急な空き家対策を

地震対策

# 避難行動マニュアルは 行動計画は作成している／町長



高野真司 議員

**問** 地震発生時間は予想ができず、場所、時間帯により避難行動もさまざまだが、その避難行動マニュアルは。

**岡田町長** 地震が起きた際にとるべき行動や対策は、各家庭に配布している大月町防災マップ、高知県が出している南海トラフ地震に備える冊子等に掲げている。

津波被害が想定される沿岸地区では津波避難行動計画を作成している。

**問** 地震発生時の自力避難困難者、弱者避難対応は。

**富岡危機管理課長** 災害時避難行動要支援者の名簿を作成し、福祉関係機関、消防、警察などで情報共有している。

普段の見守り、災害時の支え合いの仕組みと避難行動計画を地域ごとに作成し、避難訓練等を積極的に実践していく。



家族で確認しておきましょう

**問** 避難した後の被災現場に火災が発生している。その原因は、災害後の通電による火災である。この通電火災防止に、町内全戸に地震感電ブレーカーを設置してはどうか。

## 地震感電ブレーカー設置を

### 事業導入を検討／町長



通電火災防止を

**岡田町長** 地震での停電後、電気復旧による通電火災防止に、県のモデル事業として感電ブレーカーの設置を実施している自治体がある。本町においても、感電ブレーカーの設置事業の導入が可能であるか県と協議し対応していく。

## 空き家を 緊急避難住宅に

**問** 津波被害では生活の必需品の全てが無くなっている。空き家対策と耐震補強補助事業を組み合わせて改修し、緊急避難住宅に空き家を活用してはどうか。

**岡田町長** 地震対策と空き家対策との組み合わせで事業を行っている事例と、両制度の整合性を調べ、防災対策と空き家対策の事業組み合わせが可能であれば検討していく。

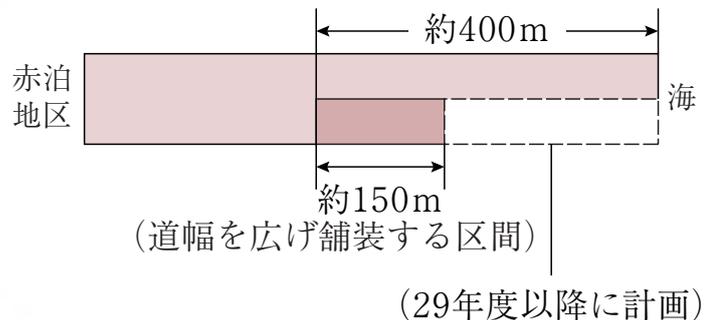
# 道路舗装改修

赤泊地区や唐岩地区に光が当てられました。平成28年度予算で、どちらの地区も2000万円の予算で、一部の舗装工事や改良工事が実施されます。「引き続き平成29年度も予算獲得できるように努力します。」と担当課から回答がありました。



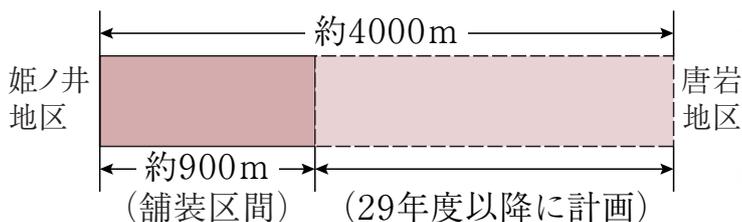
## ① 月灘海岸線

一部区間約400メートルが未改良のまま残されていましたが、平成28年度予算で約150メートルの道幅を広げ、そのうちの一部を舗装する工事が発注されました。なお、残りの区間については、平成29年度以降に計画されます。



## ② 唐岩線

姫ノ井・唐岩間約4000メートルは、舗装の傷みがひどくなっていましたが、平成28年度予算で、姫ノ井側から約900メートルの舗装工事が発注されました。





## 地域の美化は私たちの力で

柏島 黒田 朝男さん  
あさお

柏島地区は漁業と観光業で生きている地域。漁業は魚価の低迷、燃料費の高騰、漁獲制限などで養殖以外の漁業は衰退の道を歩んでいる。漁師は生活のためサンゴ漁に走った。後継者の育成を含め水産業の活性化が望まれるところだ。

一方、観光産業は地域の活力源。夏場は観光客で盛況であ

り、これからの伸びも十分予測されるが課題も多い。『人が来ればゴミが増える。観光客の増大とゴミの問題はいつもイタチごっこ。地域が公園のようなきれいな所であればゴミは増えないのではないか。自分たちの地区は自分たちできれいにす

分たちできれいにす。それを繰り返ししていきたい。一人ではできなくても皆で

やればできることです。きれいな地域を後世に財産として残す。自分たちが手本になり次世代を支える子どもたちに伝えていくことが大切だ

と思う。  
大月町行政には、ゴミ廃絶の啓発や海での危険（禁止項目）を告知する看板を設置してもらいたい。



# みんなの広場

# 私の願い



## 仕組み作り

銚土 前田 知慶さん

ともりのり

昨年の5月に大月に帰ってきて農業を始めた。

実践農大の後、農業関係の仕事などいくつかの仕事をしたが、やはり大月町で仕事をしたくて帰ってきた。考えた末、作物の育つ過程を見るのが好きだったから農業にした。

土地探しには苦労した。知り合いが農業委員をしていたの

で、その人に頼んで探してもらって、なんとか50アールほどの畑を確保して作付けの準備もしてもらった。作物のことも何人かの知り合いから教えてもらいながらやっていく。近所の人たちもいろいろ心配してくれてありがたく、つながりが大事だと思った。

自分は地元の人なので土地や機械、

作物の育て方など、人や設備はそこそこで条件も整っていたので始められたが、それが無い人が農業を始めたい時どうしたらいいのか、支援の窓口やいろんなパターンのシユミレーションがあると思う。

将来的には観光農園をしてみたいので、町や組織の協力があると思う。

こんにちは

“かわいい”がいっぱい

ママたちで作るハンドメイド雑貨店



久米直子 さん

弘見でハンドメイド(手作り)の雑貨店「ナチュラルマーケット・チヨコミント」を営む、久米直子さん、豊田恭子さん、横山佐江さんを取材しました。  
ハンドメイド好きなママたちが作品を持ち寄ってフリーマーケットをしているうちに、子ども用品やお土産品を中心としたお店を出したいと思うようになり、4年前から3人の仲間を始めました。今では町内外からの作家仲間も20人近くに増え出品数も多くなり、バラエティーに富んだ品揃えになっています。



人とのつながりを大切に

お母さんの小遣い程度で買えるものにして、自分たちの想いのある作品を通して、人とのつながりを大切にしています。「将来は、ふれあいパークの施設をもっと大きくしてもらい、誰でも出店できる仕組み作りをして、その一角に自分たちの出品コーナーを構えたい。町外から多くのお客さんが訪れ、大月町の良さを知ってもらいたい。」と夢を語ってくれました。

編集後記

桜前線が北上し、わが町では田植えが始まり、新1年生が大きなランドセルを背負って元気に登校しています。

3日間の予算質疑を行い新年度予算が成立しました。少子高齢化、産業振興、防災対策など課題は山積みです。私たちは住民と行政の間をとりもち、知恵を出し合い協力し合っこそ活力ある町が生まれると信じています。住民の期待に沿えるよう取り組んでいきます。(安岡邦彦)

議会広報常任委員会

- 委員長 浦木 秀雄
- 副委員長 山本 恒和
- 委員 安岡 邦彦
- 委員 野村 満久
- 委員 久米 里志

発行／高知県大月町議会  
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230  
TEL(0880)73・1682

印刷  
有限会社 宿毛印刷